

フード・アクション・ニッポン

5年社会科・家庭科・食育 7月 240〈8時間〉
 附属新潟小学校 指導教諭 大矢 和憲

1 本単元で目指す姿

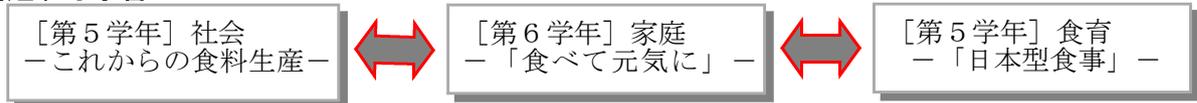
食料問題の解決に向けた方策を見だし、社会へのかかわり方を考える子ども

「日本の食の未来のためにも自給率を上げることが大切で、国民みんなができることを実行して、協力する必要があることが分かりました。いつも栄養バランスや自給率を考えて料理をつくるのは難しいけれど、私は、これからもできるだけ国産の食材を使って料理をしたり、洋食を減らして和食を食べるようにしたりしていきたいです」などと考える姿。

2 本単元で育成する資質・能力（評価規準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
社会科	<ul style="list-style-type: none"> ○食料自給率，輸入，食生活の変化，食料廃棄等，食料問題の知識と解決に向けた取組に関する知識 ○地産地消等，食料自給と消費の取組に関する知識 ○基礎的資料を通して，情報を適切に調べまとめる技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会へのかかわり方を選択・判断する力 ○考えたことや選択・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力 	<ul style="list-style-type: none"> ○よりよい社会を考え，学習したことを社会生活に生かそうとする態度 ○我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚をもちよりよく課題解決しようとする態度
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ○食材の栄養素と健康に関する知識 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の問題点について自分の経験や既習と関連付け，解決方法を構想する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の消費生活を見直し，改善しようとする態度
食育	<ul style="list-style-type: none"> ○日本型食事に関する知識 	<ul style="list-style-type: none"> ○健全な食生活を実現するために必要な情報を収集し何が必要かを考える力 	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に健全な食生活を実現しようとする態度

3 関連する学習



4 単元の計画

	【学習活動】 ☆資質・能力	【働き掛け】	Q
一次	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食料自給率の変化グラフを読み取り学習問題を設定する。 ◎ なぜ，食料自給率がこんなにも低下したのだろうか。 ○ 食料自給率が低下した要因について考え，資料等で確かめる。 ○ 食料自給率が低いことの問題点や改善点を考える。 ○ 日本人の食生活が変わり食品の輸入が増えたこと，生産者が減ったことなどで自給率が低下した。だから国内の食料生産量を増やす必要がある。 ○ 回転寿司店の寿司ネタや主な食材の自給率について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・輸入が日本の食生活を支えている。 ○ 輸入に頼ることの問題点を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ カロリーベースの食料自給率の推移が分かるグラフを提示し，疑問に思ったことを問う。 ◆ 学習問題について予想を発表させ，資料等で要因を調べさせる。 ◆ NHK動画「日本の食料自給率」を視聴させる。 ◆ 食料自給率が低下したことについて，どう思うか問う。 ◆ NHK動画「食料の輸入増加と日本の農業・漁業」を視聴させる。 ◆ 回転寿司店の寿司ネタの産地データと主な食材の自給率の資料を提示する。 ◆ NHK動画「輸入が支える豊かな食生活」を視聴させる。 ◆ 輸入に頼ることの問題点を問う。 	15 Q 5 時間

○ 日本の豊かな食生活は輸入なしでは成り立たない。でも輸入に頼っていると輸入できなくなったときにみんなが困る。どうしたらいいだろうか。

- 日本のフードマイレージの事実から問題点を考える。
- 日本の食料廃棄量の事実から、問題点を考える。

○ 日本は世界一フードマイレージが高く、食料を無駄にしている国だと分かった。やっぱりこれからは輸入に頼らず、食料自給率を上げることが必要だ。

- 新潟県内、新潟市内の農産物直売所の数を調べる。
 - ・こんなにたくさんあるんだ。
 - ・地産地消の取組はいいな。

○ 直売所は、生産者と消費者どちらにとってもいい。そして、地産地消を進めることが食料自給率を上げることにつながりそうだ。

- 日本の食料問題の現状と、それに対する改善の取組についてまとめる。

二次

- 食料問題と自分を含めた国民の生活を関連付けた問いをもち、学習問題を設定する。

◎ (食料自給率を上げるために,) どのような料理を食べたらよいのだろうか。

★社会科・家庭科・食育①③

- 学習問題について調べたり考えたりしていくための視点を設定し、様々な資質・能力を発揮して学習する見通しをもつ。

★社会科・家庭科・食育①②③
★協働性・ツール活用能力

- 実生活でできることと難しいことがあることに気づき、より現実的に社会へのかかわり方を考える。

★社会科・家庭科・食育①②③
★ツール活用能力

- 食料問題の解決に向けた国民の社会へのかかわり方について議論する。

★社会科・家庭科・食育①②③
★協働性

- これまでの学習で分かったことを基に、社会へのかかわり方について考えをまとめる。

○ 日本の食の未来のためにも自給率を上げることが大切で、国民みんなが、できることを実行して、協力する必要があることが分かりました。いつも栄養バランスや自給率を考えて料理をつくるのは難しいけれど、私は、これからもできるだけ国産の食材を使って料理をしたり、洋食を減らして和食を食べるようにしたりしていきたいです。

◆ NHK動画「食料を輸入に頼ることの問題」を視聴させる。

◆ NHK動画「フードマイレージ」を視聴させる。

◆ 日本の1年間の食料廃棄量を提示し、NHK動画「大量の輸入と食べ残し」を視聴させ、問題点を問う。

◆ 農産物直売所マップを提示し、何を表しているか問う。

◆ 新潟県内の農産物直売所の資料を配付し、直売所のよさを問う。

◆ NHK動画「農産物直売所」を視聴させる。

◆ 地元の食材を使った外食産業の資料を提示し、言えることを問う。

◆ 農林水産省の方から、日本の食料問題の現状と、企業や団体等が行っている、食料自給率向上につながる取組について説明してもらう。

◆ 既習の食料問題をまとめた資料1と、「日本人の好きな料理ベスト5」(資料2)を提示し、問題と感ずる理由と、これから考えたいことを問う。
【働き掛け1】

◆ 子どもの予想を発表させ、「調べる・考える視点」と学習の進め方を問う。
【働き掛け2】

◆ 考えたことが本当にできるのか問い、実践調査レポートを作成させる。
【働き掛け3】

◆ 農林水産省の方に国の目標を提示してもらい、目標を達成するためには、誰が、どうすればよいか問う。
【働き掛け4】

◆ 農林水産省の方に子どもの考えに対する価値付けをしてもらい、学習を通して分かったこと・考えたこと・思ったことを問う。
【働き掛け5】

9 Q 3 時間